

製造方式

アプセット加工

アプセット鍛造とは母材の両端部を据込んで太くする方法です。

この加工によりネジ部が本体径よりも太くなりますので、本体径にて強度計算が可能になります。

しかし、アプセット加工は金型を使用して加工しますのでネジ部を長くしたり、ヒンジ部の形状を変更することは出来ません。

当社では、最も品質が安定し経済性の高い この方式を採用しています。

※アプセット鍛造の特徴としては

- 量産性に優れ経済的です。
- 一般的にマクロ組織が良く、しかも鍛流線の方向が適正です。
- 形状および精度が良く、しかも長尺物でシームレスの一体製品が出来ます。

直ネジ加工

タイロッド本体に直接ネジ切り加工する方法です。

本体部よりネジ部が細くなりますので、本体径での強度計算は使用できません。

しかし、鍛造工程がありませんので納期の短縮とネジ部の長さ変更が可能となります。